



<http://www.mapple.co.jp/>

昭 文 社

Corporate profile

会社案内

時代を先取りする革新力と プロフェッショナルとしての鑑識眼

〔Philosophy〕



株式会社 昭文社
代表取締役社長

黒田 茂夫

Shigeo kuroda

情報があふれる時代だからこそ、
プロの目で確かめた“本当に価値ある情報”の
提供にこだわり続けます。

日本が高度経済成長期であった1960年に誕生した昭文社も、おかげさまで創業50周年を迎えることができました。この間、日本人の価値観やライフスタイルは大きく変化しましたが、「革新を追求」を社是に掲げる昭文社は、既存概念に捉われない柔軟な発想で、その時代、時代のニーズにマッチした商品を次々と開発し、地図・ガイドブックのリーディングカンパニーへと成長することができました。

そして高度情報化社会といわれる現代。

世の中におびただしい情報があふれる時代だからこそ、“本当に価値ある情報”が求められていると、わたしたちは考えます。半世紀の歴史で蓄積された昭文社の地図・旅行情報は、プロフェッショナルの目で厳選した、いわば「ニッポンの特選情報ライブラリ」。わたしたちはこれからも、みなさまに安心してご利用いただける質の高い地図・旅行情報の提供にこだわり続けてまいります。

またこの間、地図・旅行情報の発信メディアは、出版物からインターネット、携帯電話、カーナビゲーションなどのデジタルメディアへと急速な広がりを見せ、情報提供会社にとっては、それぞれのメディアの特性を活かした利便性の高い商品を開発する、「応用力」が試される時代に突入しました。わたしたちは、「ニッポンの特選情報ライブラリ」という基礎力を強みに、より一層、みなさまのお役に立てる企業として躍進してまいります。

これからの昭文社にもどうぞご期待ください。

MAPPLE Identity

大切な思い出づくりに立ち会える喜びと誇り。
これからも“幸せの記憶”として人生に彩を添える
旅の演出をお手伝いしてまいります。

人は人生の中で幾度となく“旅”に出ます。旅先での感動的な体験や出会いは、“幸せの記憶”として胸に深く刻まれ、人生に豊かな彩を添えてくれます。創業以来半世紀、地図や観光ガイドの出版といった事業を通じて、みなさまの思い出づくりにかかわらせていただいたことは、わたしたちにとって何にも代えがたい喜びであり、誇りです。

昭文社の強みは“本当に価値ある情報”を厳選する鑑識眼としての「基礎力」と、時代やニーズの変化に素早く対応できる「応用力」、そして手作業で地図を製作してきた時代から受け継いできた「ものづくり精神」にあります。

わたしたちは、これからもみなさまの旅の「ワクワク」「ドキドキ」を演出し、“幸せの記憶”へとつながる情報を提供し続けていくため、この「基礎力」と「応用力」にさらなる磨きをかけながら、まじめで実直な「ものづくり精神」で努力してまいります。



日本のビジネスとレジャーの発展をみつめて50年、 移り変わる世相を鮮やかに切り取った昭文社のヒット商品たち。

昭文社の地図の歴史は、創業年の1960年に発行した『大阪市区分地図篇』（官公庁・企業向け高額版）、『大阪市精図』『河内市精図』（一般向け廉価版）から始まりました。日本が高度経済成長を迎えていたこの時期。その後は一気に先進国への階段を駆け上り、社会や人々の暮らしは大きく変化しましたが、創業当時の「人の仕事や暮らしに役立つ便利な地図を一」という志は、昭文社の社員一人ひとりに引き継がれ、時代の要請にぴったりフィットした数々のヒット商品を世に送り出してきました。

日本中が国内初の万博開催に沸いた1970年には、『EXPO '70日本万国博覧会会場図』を出版。会場案内に加えて大阪、

京都、奈良の市街地図も掲載したこの本は、発売わずか2か月で70万部を売り上げる大ヒット商品になりました。レジャー需要が急速に伸びた80年代には、みなさまに永く愛されることになった旅行ガイド『エアリアガイド』、道路地図帳『マップル』、ライダー向けの『ツーリングマップ』、旅行情報誌『マップルマガジン』などを相次いで発行。さらに防災意識の高まりを受けて2005年に発行した『震災時帰宅支援マップ』は、マスコミで大きく取り上げられ、2か月で57万部を超えるベストセラーに。創業50年目の節目となる2010年は、鉄道をこよなく愛する人たちに向けた『レールウェイマップル』が、個性豊かな昭文社の商品ラインナップに加わりました。

[History]

高度経済成長から 高度情報化社会まで

マイカー時代 レジャーブームの到来

東京オリンピックの開催を翌年に控え、首都高速道路をはじめとする首都圏の道路整備が一気に進み、マイカー時代が幕を開けました。1964年には東京モノレール羽田線、東海道新幹線が開通。レジャーブームの追い風となりました。

日本万国博覧会 (大阪万博)開催

日本で開催された初の国際博覧会。当時としては史上最大規模での開催となり、目標入場者数の3000万人をはるかに上回る約6400万人が詰めかけました。なかでもアポロ11号が持ち帰った「月の石」が展示されたアメリカ館の前には連日長蛇の列ができました。

パンダが 日本にやって来た

国交正常化を記念して中国から贈られたジャイアントパンダのカンカンとランランが羽田に到着。パトカーに先導される国賓並みのVIP待遇で上野動物園へと向かいました。動物園には徹夜組も含め、パンダを待ちわびる人が殺到。その行列は御徒町駅まで続いたとか。

新東京国際空港 (成田国際空港)開港

手狭になった羽田空港に代わる新しい“空の玄関口”として1978年5月20日、千葉県成田市に新東京国際空港が開港。翌21日にはロサンゼルス発の日本航空の貨物機が第1便として着陸。同日、空港への足となる『京成スカイライナー』も、運行を開始しました。

『北の国から』で 北海道旅行が人気に

1981年に連続ドラマが放送されて以降、国民的ドラマとして人気を博した『北の国から』の影響で北海道旅行が人気に。ドラマのロケ地となった富良野の五郎の家、純と蛍が通った小学校などは観光スポットになり、多くの人が訪れました。

人気のデートスポット 続々登場

ベルリンの壁が崩壊し、昭和から平成へと元号が変わったこの年、横浜ベイブリッジ、幕張メッセ、横浜アリーナ、葛西臨海水族園や、シネコンの走りであるマイカル本牧など、今でも人気のデートスポットが相次いでオープンしました。

格安航空券の登場で 旅はより自由に

航空規制の緩和で格安航空券が登場したことにより、自分で旅を自由にデザインする個人旅行が増加しました。テレビの世界でも、お笑コンビの猿岩石が沢本耕太郎さんの『深夜特急』をヒントにユーラシア大陸をヒッチハイクで横断する企画が大受けしました。

国民の祝日見直しで 3連休が増加

国民の祝日の一部を特定の月曜日に移す「ハッピーマンデー制度」導入。成人の日、海の日、敬老の日、体育の日などが従来の日付から順次月曜日へと移行され、3連休が増加。前後に有給休暇を取って長期旅行に出かける、なんてこともしやすくなりました。

子どもから女性まで 鉄道ブーム

車窓を流れる風景を眺めながら、あるいは駅弁に舌鼓を打ちながら楽しむ『鉄道の旅』の人気が再燃。マンガ『鉄子の旅』のヒットもあり、女性の鉄道ファンも増加。客室から列車を見降ろす「トレインビュー」を売り物にしたホテルプランも続々登場しています。

世の中の動き

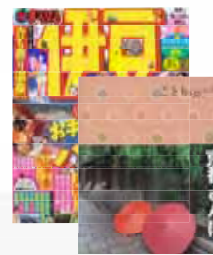
昭文社沿革

主な出版物



「明日、どこ行く?」から「次は、どこ行く?」まで 一人ひとりにぴったりの 旅の思い出づくりをサポート

明日、
どこ行く?



旅のプランニング。
現地での楽しみを、
あれこれ想像して
ワクワク!



旅のしたくは
宿予約から。
おでかけスポットも
しっかりチェック!



移動に便利な
ルート情報。
もちろんナビも
欠かせません。



現地のお天気を
ケータイで先回り。
周辺検索でスポット情報
持ち歩きも!



次は、
どこ行く?



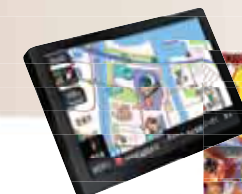
“幸せの記憶”を
フォトブックに
永久保存!



おでかけ情報は
共有財産。
クチコミに写真投稿。



帰宅途中で
オススメ名物や
おみやげもゲット!



旅先では
散策情報を検索。
しかもクーポンで
おトクに!



「Experience Design」

膨大なデータ量を背景としたメディア総合力で、
一人ひとりに最適な方法とタイミングで情報提供。
MAPPLEが旅とおでかけの体験価値を高めるお手伝いをいたします。

社会の移り変わりとともに、旅のスタイルや旅に求められるものも変化してきました。平均寿命の延びや女性の社会進出で、元気なシルバー世代や働く女性たちが気軽に旅を楽しむようになり、経済的・物質的な豊かさは、旅の目的やスタイルに多様化と個性化をもたらしてきました。

昭文社は、こうしたおでかけニーズの多様化・個性化に対応すべく、約8万件におよぶ国内の観光スポット情報をはじめ、日本全国、世界各地の地図・ガイド情報を収集し、日々更新しています。他に類を見ないほど膨大なこのデータベースをフル活用し、これまでも、高齢の方でも見やすいように大きな活字を採用した『街の達人』、働く女性の小さな旅を応援する『ことりっふ』、アクティブなライダー向けの『ツーリングマップル』、登山愛好家のための『山と高原地図』、そして

鉄道ファン向けの『レールウェイマップル』など、テーマ性の強い商品の開発にも積極的に取り組み、幅広いお客さまのニーズに対応してまいりました。

そして現在、急速に普及したインターネットや携帯電話、カーナビゲーションシステムといったデジタルメディアも、旅を楽しむうえで欠かせないツールへと成長しています。昭文社は、これらデジタルメディアと出版物を有機的に組み合わせることによって、旅のあらゆる場面で一人ひとりのニーズにフィットする、価値ある情報サービスを提供してまいります。

「明日、どこ行く?」から「次は、どこ行く?」まで。わたしたちがお手伝いした旅の楽しい思い出が、みなさまを新たな旅へと誘うきっかけとなりましたら、うれしい限りです。



モバイル スマート端末新時代到来 MAPPLEならではの厳選情報を いつもお客さまの手のなかに

〔 Smart MAPPLE Start 〕

MAPPLEがメディアや国の壁も超えるー。
日本、そして世界のお客さまの旅の思い出づくりに寄り添って。

パソコンや携帯電話に次ぐ新たなデジタル端末として、スマートフォンやタッチパネル搭載のタブレット型端末が続々登場し、急速な広がりを見せています。パソコン並みのデータ処理能力やネットワーク機能を、持ち運びできるコンパクトなボディに収めたスマートフォンやタブレット型端末は、おでかけ先での活用が大いに期待されるモバイルツールです。また、キーボードを使うことなく、指で直感的に操作できることから、これまでパソコンや携帯電話の使用に抵抗を感じていた高齢者にデジタル端末が普及するきっかけになるとの見方もあります。

わたしたちは、「みずみずしいりんごのような“新鮮さ”こそが、地図・ガイド情報の命である」との考えから、日々、調査や取材を積み重ね、最新情報の収集に努めています。リアルタイムに更新されるMAPPLEならではの正確で厳選された

質の高い情報をいつもみなさまの手のなかにー。今後もメディアの多様化や急速な進歩・普及が予想される中で、昭文社は、常にひとつ先の未来を見据えた新しい情報提供のありかたを目指してまいります。

さらに、利用エリアが日本国内に限定されないスマートフォンやタブレット型端末は、日本からの海外旅行はもちろん、近年急速に増加しているアジア各地からの外国人観光客向けに、地図・観光ガイドコンテンツを発信するツールとして活用できる可能性も秘めています。

時代がどのように変化しようとも、創業当初からの昭文社の真摯な姿勢は変わることなく、日本国内にとどまらず、これからは、世界のお客さまの旅の楽しい思い出づくりに、まじめに、そしてスマートに寄り添ってまいります。



Outline

会社概要

社名	株式会社 昭文社 Shobunsha Publications, Inc.
代表者	代表取締役社長 黒田 茂夫
事業所	本社 〒102-8238 東京都千代田区麹町3-1 大阪支社 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-11-23 制作本部 〒135-0006 東京都江東区常盤1-18-2 テクノセンター 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-42-3 仙台営業所 〒984-0806 仙台市若林区舟丁16 横浜営業所 〒220-0073 横浜市西区岡野1-3-3 名古屋営業所 〒464-0074 名古屋市中千種区仲田2-15-8 福岡営業所 〒810-0074 福岡市中央区大手門1-3-19 東京商品センター 〒123-0841 東京都足立区西新井7-3-3 埼玉製本センター 〒349-1148 埼玉県加須市豊野台1-345-12 大阪商品センター 〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼上4-10-5
子会社	株式会社昭文社デジタルソリューション 〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1 キャンバスマップル株式会社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-42-3 株式会社リビット 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-42-3
創設 資本金 株式 年商	昭和35年5月31日 昭和39年6月11日 99億387万円 平成12年3月1日 東証一部上場 141億88百万円(平成22年3月期)
主要取引先	(株)トーハン・日本出版販売(株)・日本地図共販(株) 大日本印刷(株)・国際紙パルプ商事(株)・新生紙パルプ商事(株) 警視庁・(株)エヌ・ティ・ティエムイー・(株)ナビタイムジャパン パナソニック(株)・(株)インフォマティクス・インクリメント・ピー(株) (株)レオパレス21
主要取引銀行	三井住友銀行・三菱東京UFJ銀行・りそな銀行・みずほ銀行
従業員	432名 平成22年3月31日現在



市販出版物

地図・ガイドブックのトップブランドとして、生活・ビジネスはもちろん、休日の旅とおでかけシーンまで、永年に渡り多くのお客さまにご愛顧いただいております。ビジネスマン、ドライバー、働く女性、ママと子ども、ライダーや鉄道ファンなど、顧客層とライフスタイルに合った多様なラインナップで、一人ひとりにぴったり合った一冊を全国の書店・コンビニエンスストア等を通じてお届けしています。

特別注文品

昭文社がもつ地図づくりのノウハウや技術力を活かして、各企業、自治体よりオリジナル地図の制作を請け負っています。販売促進用、ノベルティとしてだけでなく、外国人観光客向けの外国語の地図・ガイドブックの受託制作や、ホームページと印刷物の両方を活用したサービスなど、ニーズはますます拡大する傾向にあります。

広告

『まっぷるマガジン』をはじめとする昭文社の出版物は、エリアターゲティングされ、また長く手に残るという広告媒体として優れた特性があります。タイアップ広告、ブックインブック広告、サンプル付広告、また、出版物とWebサイトのクロスメディアでの提案も含め、多種多様な広告手法でクライアントのニーズを満たす広告ビジネスを展開しています。

出版事業

電子事業

Web事業

一般向けWeb情報サービス

『MAPPLE 地図(ちず丸)』『MAPPLE観光ガイド』など、地図とガイド情報を中心とした各種Webサイトの運営、クチコミや写真投稿などユーザー同士のコミュニケーションの場として、また出版物には載せきれない最新情報や季節のおでかけ情報を掲載したり、出版物を中心とした各種メディアのハブとして、インターネットとWebサイトの活用を推進しています。

宿泊予約サービス

『まっぷるマガジン』など各種ガイドブックに掲載のホテル・旅館の宿泊予約事業を展開。昭文社は温泉地や温泉宿の取材を重ねてきた強みを活かし、“特に温泉地の予約に強いサービス”を目指しています。出版物に掲載されたQRコードなどから携帯サイトで簡単に予約ができるほか、Webサイトやメールマガジンなどで季節限定の宿泊プランなどをご紹介します。お客さまの「明日、どこ行く？」を応援する宿泊予約サービスを展開しています。

携帯・スマートフォン向けサービス

子会社である株式会社リビットを通じて、一般ユーザー向けに携帯・スマートフォン情報サービスを推進しています。『まっぷるマガジン』と連動した携帯情報サービス『MAPPLE-LINK』をはじめ、昭文社の地図とガイド情報を活用したコンシューマ向けケータイ情報サービス事業を展開しています。リビングから移動中まで、いつでも気軽にアクセスできる携帯電話の特長を活かし、旅の計画から現地での持ち歩き、さらにはナビゲーションまで、旅とおでかけシーンを便利にサポートいたします。

昭文社グループ

SHOBUNSHA GROUP

事業展開

GIS事業

地図データ (地図データ・パッケージ販売・ASP提供)

地図データ、地図システム製品、地図配信サービスなど、GIS(地理情報システム)のソリューションセーを展開。官公庁や多くの民間企業で、防災防災、エリアマーケティング、顧客管理、物流管理などのシーンでご利用が広がっています。また、ビジネスからレジャーまで幅広くご利用いただける電子地図ソフト『スーパーマップル・デジタル』は、2010年にバージョン11を発売。法人から個人までさまざまなニーズにお応えしています。

マッピング&ソリューション

子会社である株式会社昭文社デジタルソリューションを通じて各企業、自治体の地理情報システムの構築、マッピング業務の受託を行っています。マッピングソフトの開発から入力まで、トータルでサービスを行うGISベンダーとして、ローコストかつ高品質なGIS・マッピング事業を実現しています。

カーナビゲーション事業

子会社であるキャンバスマップル株式会社を通じて、昭文社の地図データと豊富なガイドコンテンツを活用したカーナビアプリケーションソフト『MAPPLEEnavi』をPNDメーカー向けにご提供しているのはじめ、カーナビメーカー向け各種データ企画、コンテンツ提案を行っています。『まっぷるマガジン』のグルメ・おでかけ情報からドライブコースやぬけみちの紹介まで、旅の移動シーンをもっと楽しく、もっと便利にするカーナビ事業を推進しています。